

1 ごみ処理の基本方針

長岡市（以下「本市」という。）は、平成 16 年 10 月から「ながおかのごみ改革」に着手し、家庭系ごみの一部有料化、資源物の分別収集や集団回収、拠点回収等の資源化を実施し、ごみの減量化・資源化を推進してきました。平成 25 年 3 月に策定した長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画では『環境にやさしい循環型社会の実現』を基本理念として、市民・事業者・行政の役割分担を明確にしながら、3 R の推進や適正な処理・処分を推進してきました。

こうした状況を受けて、平成 30 年度から平成 39 年度までの 10 年間を計画期間とする新たな「長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」を策定し、更なるごみの減量や資源化に加え、天然資源の消費を抑え、次世代につなげる循環型のまちづくりを進めます。

本計画の基本理念は、本市の総合計画に沿って、環境にやさしい循環型のまちづくりを進めることです。これを実現するため、ごみ処理における 3 つの基本方針を定めます。

ごみ処理における基本方針

- ◇ 3 R

リデュース：発生抑制
リユース：再使用
リサイクル：再生利用

 の推進
- ◇ 市民・事業者・行政の役割分担の明確化
- ◇ 適正な処理・処分の推進

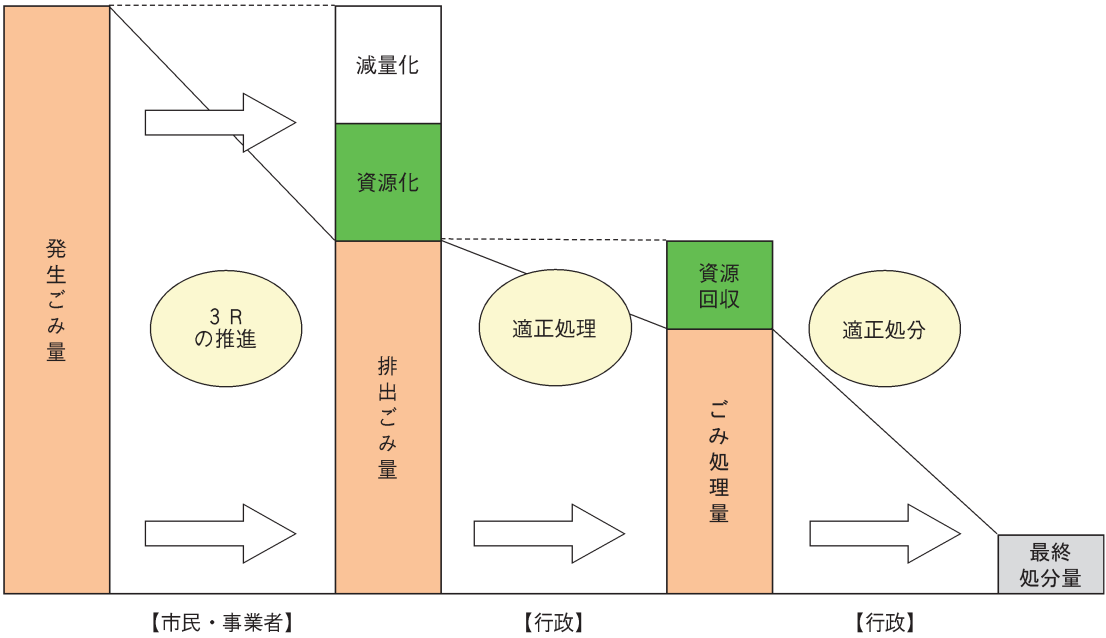


図 1 適正処理・処分のイメージ図

2 重点項目と達成目標

《 重 点 項 目 》

- 1 資源物の分別徹底による資源化の更なる推進
- 2 事業系ごみの減量とリサイクルの一層の促進
- 3 生ごみバイオガス化によるごみの資源化と有効活用
- 4 中間処理段階におけるごみの資源化の推進
- 5 安全・安心に配慮したごみの適正処理・処分

《 達 成 目 標 》

平成 39 年度までに達成を目指す目標値

- ◇ ごみ排出量 88,400t/年 → 79,300t/年（10%の減量）
- ◇ 市民 1 人 1 日当たり 884g → 867g（17g/人・日の減量）
- ◇ リサイクル率 24.7% → 27.5%（2.8 ポイントの向上）

※ 基準年は平成 28 年度とし、（ ）内は基準年との対比である

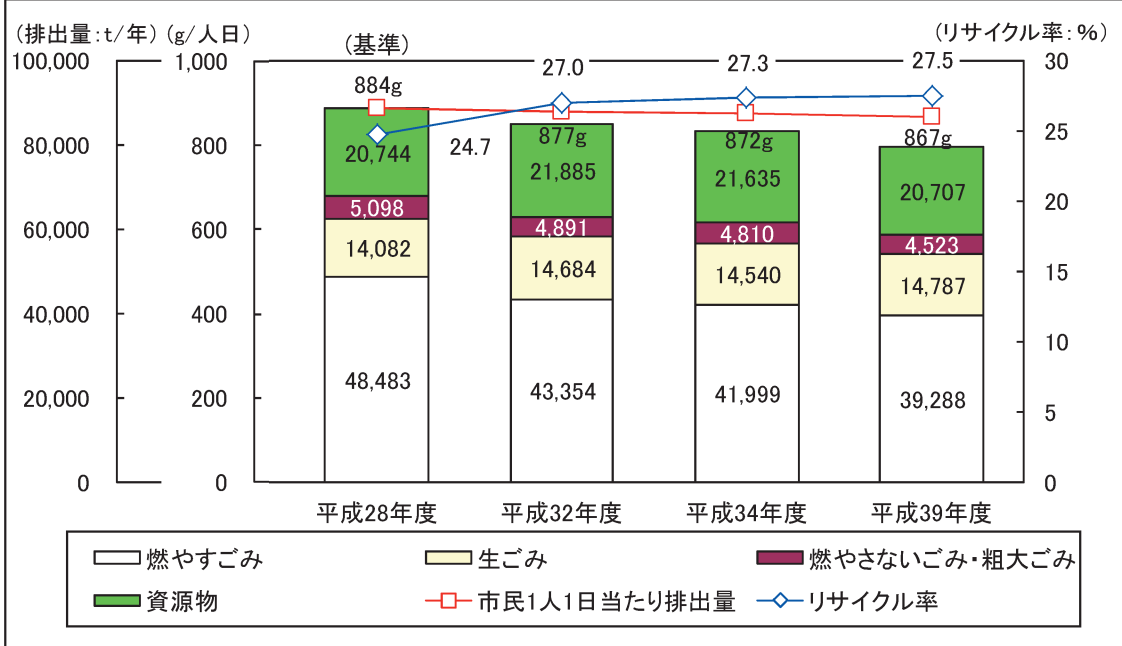


図 2 減量及びリサイクル率の達成目標値